The cover image shows a close-up of vibrant green leaves on thin branches, set against a blurred green background. The 'sala' logo is prominently displayed in the center, with the tagline '生活にファインクオリティ' above it.

生活にファインクオリティ

sala

第8期中間報告書

平成20年12月 1日から平成21年 5月31日まで

株式会社サーラコーポレーション

証券コード:2734



代表取締役社長

中野 吾郎

サーラグループ100周年ロゴマーク

あふがにやをまふへ

100th
Anniversary

59.9ナ ラクル ア

“SALA”の意味

S=Space(空間) A=Art(美しさ)
L=Living(生活) A=Amenity(快適)を
それぞれの文字が表しており、「生活空間
をより美しく快適に」というグループ共通の
思いが込められています。また、イタリア語
では「サロン、団樂の場」などを意味します。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループ
にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第8期中間期（平成20年12月1日から
平成21年5月31日まで）の業績、各セグメントの状況、ト
ピックスなどについてご説明した報告書を作成いたしました
ので、お届けいたします。

当中間期は、自動車産業を中心とした取引先企業にお
ける工場の稼働率の低迷、設備投資の抑制などの影響
により、連結業績は前年同期を下回る結果となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、景気の影響にと
どまらず、環境問題、省エネに対する人々の意識の高まり、
高齢化、成熟化といったさまざまな社会構造の変革期の
なかにあります。

このような状況のなか、当社グループは、各事業セグメン
トにおいて、販売業務、購買業務等についての業務革新
とコスト管理に注力するとともに、グループ間の連携による
総合力を発揮することで事業基盤の強化を図ります。また、
社会構造の変化に対応したビジネスモデルを構築するこ
とにより、安定した事業収益の創出に努めてまいります。

サーラグループは、本年10月に100周年の節目を迎え
ます。これらの施策を着実に実施することによって、次の
時代に向けた第一歩を踏み出す所存であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループ
に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

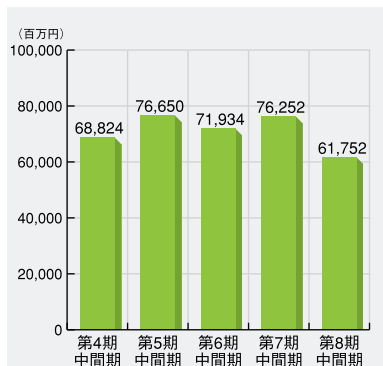
連結業績の概要

売上高 61,752百万円

前年同期比14,499百万円(19.0%)減

売上高は前年同期比19.0%減の61,752百万円となりました。主たる要因としましては、エネルギーサプライ&ソリューション事業において、景気後退の影響によりLPガス、石油製品の販売数量が前年同期を下回り4,933百万円減少、並びに原油価格の下落に伴う販売価格の低下により4,136百万円減少するなど、29.0%と大幅に減少したことが挙げられます。その一方で、アニマルヘルスケア事業は、ペット向け医薬品に加え、療法食の販売が好調で6.4%増、ホスピタリティ事業は、昨年開業したココラフロント、ホテルアークリッシュ豊橋の稼働により88.4%と大幅な増加になりました。下期につきましては、事業セグメント毎に、受注の確保、需要を喚起する施策に取り組んでまいります。

売上高の推移



営業利益 1,242百万円

前年同期比327百万円(20.8%)減

経常利益 1,100百万円

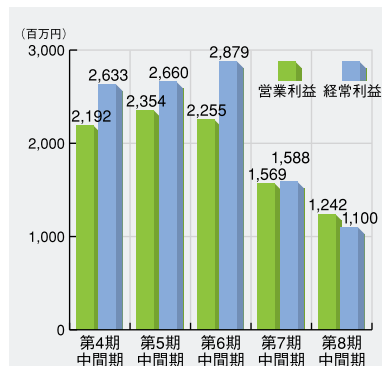
前年同期比488百万円(30.7%)減

売上原価は原油価格の下落に伴いLPガス、石油製品の仕入価格が低下したことなどにより、前年同期比24.2%減の46,662百万円となりましたので、売上総利益は前年同期比2.7%増の15,090百万円となりました。

また販売費及び一般管理費につきましては、人件費をはじめ費用の削減に努めました。昨年8月に完成した豊橋駅前再開発事業の中心的施設であるココラフロントの減価償却費を計上したことなどにより、前年同期比5.5%増の13,848百万円となりました。

これらにより、営業利益は1,242百万

営業利益・経常利益の推移



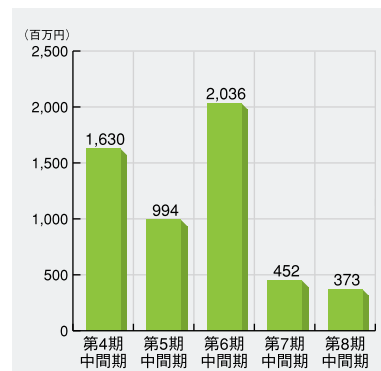
円(前年同期比20.8%減)となり、持分法投資損失の発生などにより経常利益は1,100百万円(前年同期比30.7%減)となりました。

四半期純利益 373百万円

前年同期比 78百万円(17.4%)減

特別損益では、特別利益は13百万円(前年同期比60.1%減)となり、特別損失はたな卸資産の評価方法の変更などにより303百万円(前年同期比59.7%減)となりました。以上により、四半期純利益は373百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

四半期純利益の推移



* 事業セグメント毎の業績並びに業績回復に向けた取り組みに関しましては、次頁「事業セグメント別の概況」をご覧ください。

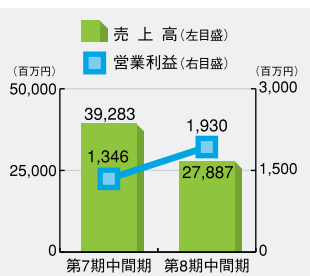
事業セグメント別の概況

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高 27,887百万円 (前年同期比 29.0%減)
営業利益 1,930百万円 (前年同期比 43.3%増)

LPガス、石油製品の販売数量が工業用を中心に減少したことに加え、原油価格の下落に対応した販売価格の改定などにより売上高は減少しましたが、LPガスにおいて原価管理の徹底をはじめ、利益改善を図る取り組みを行い、収益の確保に向けた施策を継続して強化してきたことなどにより、営業利益は増加しました。

下期につきましては、生活サポート提案の強化など、収益の確保に向けた取り組みを継続するとともに、当事業の重要な基盤である家庭用のお客さま獲得のため、積極的なM&A展開等にも取り組みます。

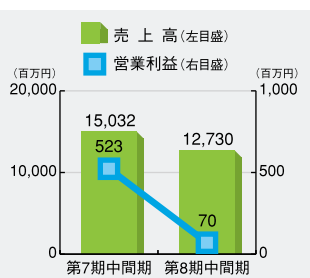


エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高 12,730百万円 (前年同期比 15.3%減)
営業利益 70百万円 (前年同期比 86.5%減)

受注の確保及び原価管理の徹底に努めてまいりましたが、取引先における設備投資の抑制、延期等計画の見直しによる影響を受けたことなどにより、売上高、営業利益とも減少しました。

下期につきましては、環境、省エネ、新エネルギーを切り口



として、事業セグメント内各社並びにグループ関連会社との連携により、工事・営業体制を構築し、競合他社に対する優位性の確立に努めます。

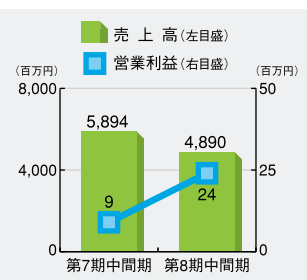
カーライフサポート事業

売上高 4,890百万円 (前年同期比 17.0%減)
営業利益 24百万円 (前年同期比 169.4%増)

販売台数減少の主要因としてのガソリン価格の高騰は解消されましたが、直近の不安定な経済情勢を反映して自動車販売を取り巻く環境は厳しく、取扱い車種のなかには新グリーン税制の対象となる

車種もなかったことなどから輸入車販売部門は低調に推移し、売上高は減少しました。一方、利益面では、営業費用の削減により営業利益は増加しました。

下期につきましては、輸入車販売台数に左右されない安定的な利益構造を構築するとともに、全国のフォルクスワーゲンディーラーを対象としたDIA(お客さま満足度を中心とした調査)で上位を保つなど、高いCSレベルの維持に努めます。



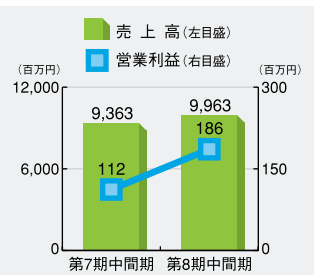
アニマルヘルスケア事業

売上高 9,963百万円 (前年同期比 6.4%増)
営業利益 186百万円 (前年同期比 66.4%増)

ペット関連分野におきましては、ペット向け医薬品に加え、療法食の販売が引き続き好調で売上全体を牽引しました。なかでも、前期開設した関西支店の業績が順調に推移したことにより、売上高、営業利益の増加に寄与しました。また、畜産

分野におきましても、業績は堅調に推移しました。

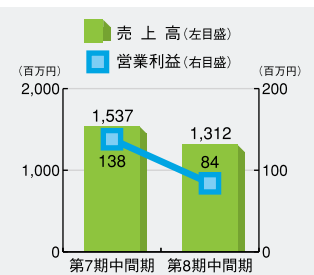
下期につきましては、販売・物流等の業務改革に伴うシステム構築関連の先行投資があるものの、業務改革並びに同業他社とのアライアンス構築により収益の向上に努めます。



ロジスティクス事業

売上高 1,312百万円 (前年同期比 14.6%減)
営業利益 84百万円 (前年同期比 39.3%減)

景気後退の影響により一般貨物輸送量が減少しましたので、売上高、営業利益とも減少しましたが、新分野のサーラおそうじ倶楽部、サーラ引越便、機密書類の出張細断サービスなど、地域に密着した生活関連サービスには引き続き注力しております。



下期につきましては、一般貨物輸送において、運輸安全管理及びグリーン経営の推進によるコスト削減に取り組むとともに、生活関連サービス事業の拡大に努めます。

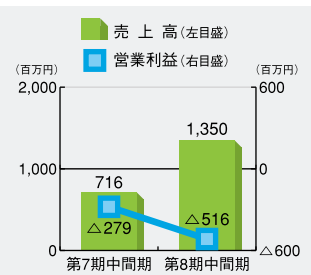
ホスピタリティ事業

売上高 1,350百万円 (前年同期比 88.4%増)
営業損失 516百万円 (前年同期は営業損失279百万円)

昨年開業したコラフフロント、ホテルアークリッシュ豊橋の稼

動に伴い売上高、売上総利益とも大幅に増加しました。しかしながら、コラフフロントの減価償却費が328百万円増加しましたので、営業損失は237百万円の増加となりました。

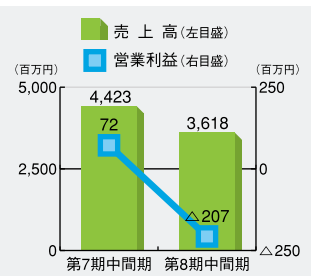
下期につきましては、ホテル・外食事業の両部門において、ローコストオペレーションの追求とともに、訴求力のあるコンテンツの開発と、プロモーション活動の展開により、来店客数の増加、施設稼働率の向上に努めます。



その他の事業

売上高 3,618百万円 (前年同期比 18.2%減)
営業損失 207百万円 (前年同期は営業利益72百万円)

自動車部品製造事業におきましては、取引先である自動車メーカーの生産調整の影響から売上が減少し、ソフトウェア開発事業も、受注先企業における設備投資の大幅な減少による影響を受けました



ので、「その他の事業セグメント」全体の売上高は減少し、また営業費用の削減に努めたものの、営業損失となりました。

下期につきましては、自動車部品製造事業では、引き続き内製化に努めるとともに、生産技術向上によるコスト削減及び提案力の強化により、安定的な受注確保に努めます。ソフトウェア開発事業では、人員体制の見直しを含むビジネスモデルの再構築に取り組めます。

中間連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

| 科 目 | 当中間期 (H21.5.31現在) | 前期末 (H20.11.30現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 38,922 | 41,142 |
| 現金及び預金 | 10,556 | 7,099 |
| ●受取手形及び売掛金 | 18,682 | 23,654 |
| 商品及び製品 | 3,989 | 4,641 |
| 仕掛品 | 2,124 | 2,091 |
| 原材料及び貯蔵品 | 156 | 134 |
| その他 | 3,412 | 3,520 |
| 固定資産 | 61,320 | 60,812 |
| 有形固定資産 | 50,015 | 50,601 |
| 建物及び構築物 | 18,648 | 18,949 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,347 | 3,547 |
| 導管 | 2,946 | 2,924 |
| 土地 | 22,564 | 22,515 |
| 建設仮勘定 | 79 | 107 |
| その他 | 2,428 | 2,556 |
| 無形固定資産 | 2,873 | 1,674 |
| 投資その他の資産 | 8,430 | 8,536 |
| 投資有価証券 | 3,728 | 3,883 |
| 繰延税金資産 | 2,089 | 2,014 |
| その他 | 2,613 | 2,638 |
| 資産合計 | 100,242 | 101,954 |

●受取手形及び売掛金

売上債権の回収、売上高の減少などにより4,972百万円減少しました。

| 科 目 | 当中間期 (H21.5.31現在) | 前期末 (H20.11.30現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 47,663 | 51,996 |
| ●支払手形及び買掛金 | 15,555 | 18,855 |
| 短期借入金 | 18,560 | 14,890 |
| 1年以内償還予定社債 | 3,950 | 3,950 |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 2,222 | 4,320 |
| 賞与引当金 | 788 | 1,263 |
| ●その他 | 6,586 | 8,716 |
| 固定負債 | 25,099 | 22,488 |
| 長期借入金 | 18,143 | 15,979 |
| 退職給付引当金 | 4,977 | 4,779 |
| その他 | 1,979 | 1,730 |
| 負債合計 | 72,763 | 74,484 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 26,204 | 26,164 |
| 資本金 | 8,025 | 8,025 |
| 資本剰余金 | 9,019 | 9,019 |
| 利益剰余金 | 10,104 | 9,925 |
| 自己株式 | △ 945 | △ 804 |
| 評価・換算差額等 | 81 | 93 |
| その他有価証券評価差額金 | 81 | 93 |
| 少数株主持分 | 1,193 | 1,211 |
| 純資産合計 | 27,479 | 27,470 |
| 負債純資産合計 | 100,242 | 101,954 |

●支払手形及び買掛金

支払債務の支払、仕入高の減少などにより3,299百万円減少しました。

●流動負債のその他

設備支払手形の減少などにより2,130百万円減少しました。

連結損益計算書

単位：百万円

| 科 目 | 当中間期 (自H20.12.1 至H21.5.31) | 前期中間期 (自H19.12.1 至H20.5.31) |
|----------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 61,752 | 76,252 |
| 売上原価 | 46,662 | 61,557 |
| 売上総利益 | 15,090 | 14,694 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,848 | 13,125 |
| 営業利益 | 1,242 | 1,569 |
| 営業外収益 | 224 | 247 |
| ●営業外費用 | 365 | 228 |
| 経常利益 | 1,100 | 1,588 |
| 特別利益 | 13 | 34 |
| ●特別損失 | 303 | 751 |
| 税金等調整前当期純利益 | 811 | 871 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 300 | 293 |
| 法人税等調整額 | 146 | 114 |
| 少数株主利益又は少数株主損失 | △ 9 | 11 |
| 四半期純利益 | 373 | 452 |

●営業外費用

持分法投資損失などにより137百万円増加しました。

●特別損失

主な内訳は、たな卸資産の評価方法の変更に伴う評価損139百万円、固定資産売却損81百万円です。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

| 科 目 | 当中間期 (自H20.12.1 至H21.5.31) | 前期中間期 (自H19.12.1 至H20.5.31) |
|---------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ● 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,629 | △ 86 |
| ● 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,556 | △ 6,231 |
| ● 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,383 | 5,989 |
| 現金及び現金同等物の増加額(△減少額) | 3,456 | △ 328 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,099 | 8,530 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 10,556 | 8,201 |

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、4,629百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額4,811百万円、減価償却費1,805百万円、税金等調整前四半期純利益811百万円、たな卸資産の減少額596百万円などの増加要因と、仕入債務の減少額3,299百万円などの減少要因によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、4,556百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,184百万円、無形固定資産の取得による支出1,452百万円によるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、3,383百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額による収入3,669百万円、長期借入による収入3,100百万円などの増加要因と、長期借入金の返済による支出3,033百万円などの減少要因によるものであります。

通期連結業績予想並びに期末配当予想について

通期連結業績予想

当社は、通期の連結業績予想(平成21年1月15日公表)につきまして、当中間期の実績及び当社グループを取り巻く経営環境並びに今後の見通しを勘案し、平成21年7月6日に通期連結業績予想の修正に関するお知らせを公表しております。

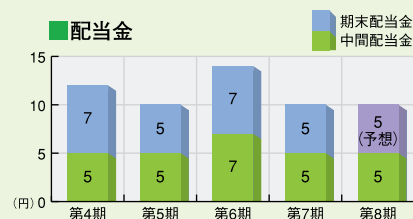
期末配当予想

下期の業績につきましても、大変厳しいものを予想しておりますが、これまで蓄積してまいりました当社の内部留保を活用することによって、当初の予想のとおり1株当たり5円を実施することとし、中間配当とあわせて年10円を実施する予定であります。

■ 平成21年11月期通期連結業績予想

単位：百万円

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------|----------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 142,131 | 1,784 | 1,634 | 743 |
| 今回修正予想 (B) | 119,960 | 786 | 694 | 36 |
| 増 減 額 (B-A) | △ 22,171 | △ 997 | △ 939 | △ 706 |



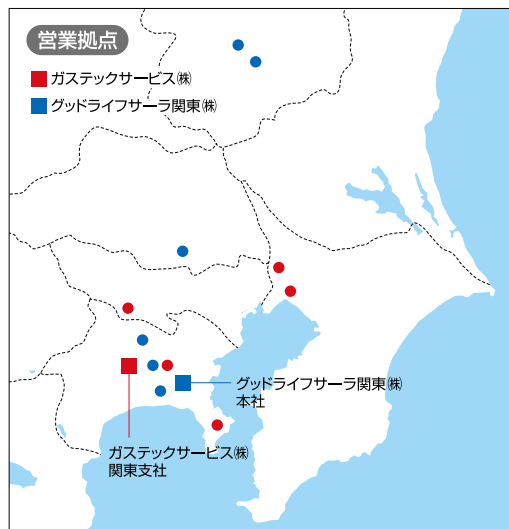
関東地区におけるエネルギーサプライ&ソリューション事業の強化

新たな連結子会社

グッドライフサーラ関東株式会社

当社連結子会社のガステックサービス株式会社は、平成21年7月1日、神奈川県を中心にLPガス、石油製品の販売事業を営む「グッドライフサーラ関東株式会社」の株式を取得し、子会社化いたしました。これにより同社は当社の連結子会社となり、連結子会社数は合計23社になります。今後、当社グループの既存のお客さまとあわせ、生活関連事業を積極的に展開していきます。

| | |
|-------|------------|
| 本社所在地 | 神奈川県横浜市戸塚区 |
| 資本金 | 8,000万円 |
| 売上高 | 42億円(見込み) |
| 役員数 | 92名 |



サーラプラザの展開

豊橋、浜松のサーラビルリファイン工事

サーラグループでは、お客さまとのコミュニケーションを深め、毎日の暮らしを演出するさまざまな商品、サービスを提供する場として、サーラプラザの展開を進めています。

当中間期におきましては、平成21年6月1日にサーラプラザ知立をオープンさせるとともに、フラッグシップ店となる豊橋、浜松のサーラビルのリファインプロジェクトを立ち上げ、5月末には豊橋店の工事に着手いたしました。

サーラプラザ豊橋は平成21年秋、サーラプラザ浜松は平成22年春のオープンを目指しています。



豊橋サーラ改装イメージ

浜松サーラ改装イメージ



環境事業の取り組みの強化

廃食用油の再生リサイクル

当社連結子会社のガステックサービス株式会社とサーラ物流株式会社は、共同で廃食用油の再生リサイクルに取り組んでいます。当中間期におきましては、愛知県豊橋市、豊川市の一部公用車に廃食用油から精製したバイオディーゼル燃料の使用を開始していただきました。また、蒲郡観光協会さまからもご協力をいただき、加盟施設からの廃食用油の回収、並びに加盟店の送迎用バスにバイオディーゼル燃料の使用を開始していただきました。

また、平成21年7月下旬には設備の増強により、処理能力をこれまでの10倍の月産2万5,000ℓに引き上げました。これにより、回収エリアの拡大が可能になります。



バイオディーゼル燃料を使用した送迎バス

サーラブランドの浸透

ジュビロ磐田の ユニフォームスポンサーの実施

サーラグループは、愛知県、静岡県を中心に、地域を重視した事業を展開しており、今年2月より、同じく地域とともに歩むサッカーJリーグジュビロ磐田のユニフォームスポンサーになりました。ユニフォームにロゴが使用されることにより、サーラブランドの認知の向上が期待されます。



©2009 Y.F.C.

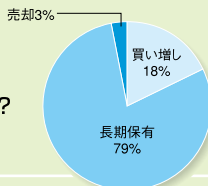
サーラグループ100周年記念マッチ
ジュビロ磐田VS名古屋グランパス（平成21年5月24日開催）

株主アンケート結果のご報告

当社は、株主の皆さまからご意見をいただき、今後のIR活動を充実したものにするため、「第7期中間報告書」、「第7期報告書」において株主アンケートをお願いいたしました。その結果の一部をご報告いたします。

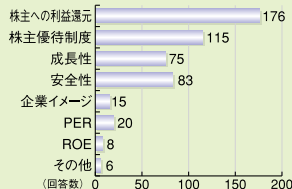
Q1

今後の当社株式について
どのような方針をお持ちですか？



Q2

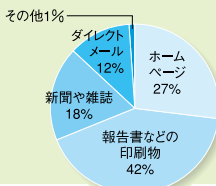
投資する際に重視される
基準はなんですか？ (複数回答可)



前回に増して、株主の皆さまへの利益還元とともに、株主優待に対する期待の大きさが伺えました。また、前回とは異なり、安全性が成長性を上回りました。

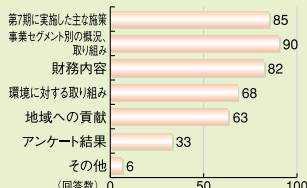
Q3

今後、どのような媒体による
情報の充実を望めますか？
(複数回答可)



Q4

本誌(第7期報告書)の内容で興味を
お持ちになられたのはどの項目でしょうか？ (複数回答可)



「事業セグメント別の概況、取り組み」に多くの関心をいただきました。引き続き厳しい経営環境の中にあられますが、株主の皆さまの期待に沿えるよう、業績回復に向け全力で取り組んでまいります。

ご協力いただきました株主の皆さまへは、この場をお借りしてあらためて御礼を申し上げます。

株主優待のご案内

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

■対象

毎年11月末日現在における500株以上所有の株主

■内容

ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券を毎年2月末頃にお届けいたします。株主優待券の有効期限は1年間になります。

| 所有株式数 | 優待内容 |
|--------------------|----------------|
| 500株以上 5,000株未満 | 1,000円分の株主優待券 |
| 5,000株以上 10,000株未満 | 5,000円分の株主優待券 |
| 10,000株以上 | 10,000円分の株主優待券 |

■ご利用方法

株主優待券は、当社グループのガステックサービス(株)のガス器具、ガンソインスタンドでの給油・洗車、(株)リビングサーラの家具、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、レストランでの飲食などにご利用いただけます。

ご利用店舗が近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただいています。

〈平成21年度の株主優待品商品例〉

- ・南光梅 うす塩味梅干し
- ・手延べそうめん
- ・そば三味
- ・讃岐切麦うどんセット
- ・渥美温室メロン
- ・サーモコーヒーメーカー など

さまざまな食品、デザイン性に優れた生活雑貨品などを取り揃えています。

| | | | |
|-----------|-------------------------------------|-------|--|
| ■商号 | 株式会社サーラコーポレーション SOLA Corporation | | |
| ■設立 | 平成14年5月1日 | | |
| ■資本金 | 80億2,500万円 | | |
| ■証券取引所 | 東京証券取引所 | 市場第一部 | |
| | 名古屋証券取引所 | 市場第一部 | |
| ■役員 | 代表取締役会長 | 中村捷二 | |
| | 代表取締役社長 | 神野吾郎 | |
| | 常務取締役 | 原田保久 | |
| | 取締役 | 磯村直英 | |
| | 取締役 | 一柳良雄 | |
| | 取締役 | 石黒和義 | |
| | 監査役(常勤) | 鈴木洋二 | |
| | 監査役 | 山崎康夫 | |
| | 監査役 | 中山正邦 | |
| | 監査役 | 杉井孝 | |
| ■グループ従業員数 | 2,837名 | | |

■連結子会社

エネルギーサプライ&ソリューション事業
 ガステックサービス(株)
 三河湾ガスターミナル(株)
 (株)ジーワークス
 (株)日興
 神野オイルセンター(株)
 (株)リビングサーラ

エンジニアリング&メンテナンス事業
 (株)中部
 神野建設(株)
 中部菱光コンクリート工業(株)
 西遠コンクリート工業(株)
 (株)中部技術サービス
 中設工事(株)
 中部三洋システム(株)

カーライフサポート事業
 サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業
 (株)アスコ
 大和医薬品工業(株)

ロジスティクス事業
 サーラ物流(株)

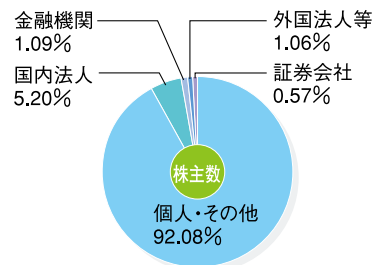
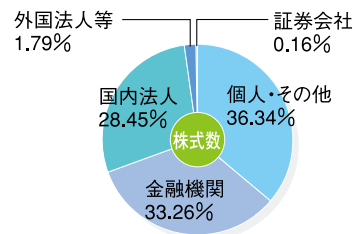
ホスピタリティ事業
 ガステックサービス(株)

その他の事業
 ガステックサービス(株)
 新協技研(株)
 テクノシステム(株)
 中部クレジット販売(株)
 サーラフィナンシャルサービス(株)
 (株)サーラビジネスソリューションズ

| | |
|-----------|--------------|
| ■発行可能株式総数 | 120,000,000株 |
| ■発行済株式総数 | 40,338,708株 |
| ■株主数 | 3,673名 |
| ■大株主 | |

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 中部瓦斯株式会社 | 5,921 | 14.67 |
| サーラコーポレーション従業員持株会 | 1,902 | 4.71 |
| 中部ガス不動産株式会社 | 1,833 | 4.54 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメント株式会社信託口) | 1,823 | 4.51 |
| ガステックサービス共栄会 | 1,672 | 4.14 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,560 | 3.86 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 1,508 | 3.73 |
| 株式会社静岡銀行((常任代理人)日本マスタートラスト信託銀行株式会社) | 1,495 | 3.70 |
| 株式会社サーラコーポレーション | 1,400 | 3.47 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,197 | 2.96 |

■所有者別株式分布



株主メモ

| | |
|------------------------------|---|
| 事業年度 | 12月1日～翌年11月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年2月中 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日 |
| 株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 |
| 同取扱所 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | フリーダイヤル 0120-78-2031 |
| 同取次窓口 | 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |
| 公告方法 | 電子公告（当社ホームページに掲載します。） http://www.sala.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 単元株式数 | 500株 |

配当金領収証で配当金をお受取の株主さまへ

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする上場株式の配当等について株主さまあてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

平成21年中に支払った配当金に係る「支払通知書」は、本年末または来年初に株主さまに送付させていただきます。なお、「支払通知書」は、確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

株式会社サーラコーポレーション【証券コード2734】

〒440-8533 豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー TEL (0532) 51-1155 (代表) FAX (0532) 51-1154 URL <http://www.sala.jp/>